

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部

令和六年三月度 入賞句一覧 投句数 七百七十九句



特選

大西 誠一 選

探梅や寄せ来たる声離る声

大垣市 田中 雅子

今朝、我が家の庭を見ると、梅の花が終わり小さな実がなっていた。この句は真盛りの梅で、次から次へと花見客が来る情景を捉えている。しかもシンブル・イズ・ベクトで、不要なことを一切言っていない。見本のような句である。梅林公園か百梅園か、いや水戸の借楽園かもしれない。

日々新たひらく朝刊花だより

養老郡養老町 佐藤 咲楽

日中は、天気が良いければ十五度ぐらいあり、過ぎしやす日もあるが、朝晩は気温が一桁と寒い日もある。今の楽しみは新聞に載る花便りである。梅の花が終われば、次は桜と、日本列島は南北に長いので、しばらくは春を楽しむことができる。

一羽翔ち百の水音鴨帰る

三重県四日市市 後藤 允孝

輪中の白鳥の群れの観察が終わり、この間久しぶりに琵琶湖と余呉湖に吟行をした。それを待受けたように、たくさんさんの鴨の群れがいた。これからシベリア等、北へ向けて数千キロを帰っていくのである。しばしの鴨との別れを惜しみ作句した。北へ。一羽飛び翔つと、本当にこの句のように百羽いやそれ以上飛び翔つのがすばらしい。

秀逸

咲き初めし梅一輪に声弾む

不破郡垂井町 児玉 信子

春よ来い菜の花色のカーデイガン

不破郡垂井町 矢部 順子

畑仕事春めく土の声太し

大垣市 高木 佐知子

影遊び兎に見えず白障子

大垣市 すみのさくら

魚氷に上る旅の話しを盛りあげて

大垣市 岡田 あや子

なごみつゝ部屋は早春軸変へる

大垣市 中山 あや子

ほどほどの老いの倅わせ豊後梅

大垣市 浅井 高男

チューリップ悲しい時も赤が好き

不破郡垂井町 中嶋 結映

野水仙能登の灯台思い馳せ

大垣市 岡田 博志

ブギウギの調べ聴きつつ日向ぼこ

瑞穂市 谷 牛歩

入選

峡谷に押し出されしや雪解川

大垣市

多賀 英華

大垣や小道に入り春深し

関市

永井 勇闘

雪解落つリズム聞き入る木因碑

本巢市

小泉 裕子

試験日や立春大吉胸に込め

大垣市

川瀬 恭子

一升のマスには及ばぬ我が決意

埼玉県所沢市

玉井 伸幸

盆梅展にはか講師の作務衣僧

大垣市

早筈 千恵子

散り止まぬ白梅赤いしべ残し

大垣市

後藤 道子

雲梯の子の臍のぞく春隣

埼玉県川口市

吉永 寿美子

花は野に人は花愛で野に遊ぶ

大垣市

永田 紀彦

半分に切りし錠剤「福は内」

愛知県北名古屋市

和田 祐子

求愛の白鳥の首折れるほど

愛知県豊明市

長縄 洋子

紅梅の陰に楚楚たる白梅よ

愛知県名古屋市の

松岡 典子

春光の届く湖畔のカフェテラス

大垣市

岡田 幸子

保健室の匂いを吸って卒業す

東京都江東区

深町 宏

日脚伸び車窓に下ろすブラインド

東京都足立区

山崎 董久

捜し物やつと見つかり卒業歌

三重県鈴鹿市

松井 政典

春まだき灯油車の音は昭和

東京都西東京市

石井 一郎

春霞天使はばたくフレスコ画

埼玉県さいたま市

澤田 紫

見て見ると逆上がりの子の息白し

大垣市

立木 絹代

縄飛の大波小波日脚伸び

神奈川県横浜市

龍野 ひろし

一般の部

選者吟

ためらひは空へ飛んでけ半仙戯

誠 一

